



見えないもの

早いもので、もう1年が終わろうとしています。最近めっきり寒くなり、あわただしく時間を過ごしながら、先生方とよく話をするのは、1年前は何をしていたのかということ。1年前、まさか現在のようなコロナ禍、第三波やって来るということは予想だにしないことでした。テレビでは、毎日のように感染のニュースを報道し、学校でもできる限りの感染症対策をしています。コロナウイルスは目に見えるものではなく、本当にこれで良いのかと自問自答をする日々が続いています。幸いにも本校では、学校が再開してから教育活動を止めることなく、無事2学期をのりきろうとしています。これも保護者の皆様のご理解とご協力、生徒自身が手洗いやマスクの着用等の対応をしっかりとしてくれているからだと感じています。

今年度のこれまでの教育活動は、未だに体育館に全校生徒が集まったことがないように、多くの場合、内容や方法を変更して行ってきました。文書による提案や、代表者だけ集まって会を行ったり、放送で集会を行うことにも取り組んできました。『昨年通り』では実施することが難しく、内容や運営方法について何度も検討を重ねてきました。若い先生方のアイデアを生かし、今まで考えなかったリモート形式といった方法にもチャレンジしました。様々な方法で取り組んできましたが、よく見えずに、判断する材料があまりない場合、不安が先に立ってしまうことがあります。そうではないと思っても、良い想像ができないことがあります。だからこそ、直接逢って、顔を見て話すことが大切ですが、そうすることが困難だった今年度は、逢える時間が貴重であること、日頃からの人間関係が大切であることを強く感じました。そして、その基礎があるからこそ、『想う』こと『想像』することをし易くなるのだと思いました。

生徒会の選挙活動をしている時のことです。あるクラスの帰りの会で、担任の先生が、「この訪問で候補者がさらにやる気になることが大切なんだよ。」と、選挙活動に来る候補者を待つ生徒の心づくりをしていたことがありました。それぞれの教室を訪問するのは一度きり、出逢いの大切さ、『一期一会』の意味を説いている姿でしたが、私自身も、人とふれあう時の心構えを再確認する場面でした。

今年の漢字は、『密』。この字には『関係が深い。親しい。』『細部にわたっていき届いていること。』といった意味もあります。常日頃から、できる限りの心配りで、人とふれあえる時間を過ごすことができたと思います。そんなことを想いながら、まずは、家族や親しい人と、いつもとは違う新年を迎えましょう。来年もよろしくお祈りします。



合唱交流会兼ブロック解散集会

12月1日(火)、合唱発表会兼ブロック解散集会を行いました。東中の伝統となっている合唱。今年はコロナ禍で、全校でのコンクールを行うことはできませんでしたが、練習方法を工夫したり、ブロックごとに1時間ずつ時間をとる方法で行いました。

密を避けるための場所等の関係で、練習時間も長くとることができず、内容を心配する声もありましたが、1年生がクラスごとに歌詞を工夫したり、2年生のこれからの学校を支え



ていこうとする自覚も感じられた良い会となりました。

何より、3年生のこの会に臨む『思い』が強く、3年生の言葉、姿に涙を流していた生徒や先生方もいました。3年生の合唱を、1,2年生に聞かせることができ本当に良かったと思いました。こうやって伝統は引き継がれていくのだと思いました。

生徒会役員選挙

生徒会活動とは、互いの『思い』を理解し、生徒自らが、自分たちの目指す学校づくりをしていくことです。12月2日(水)から11日(金)まで、来年度の生徒会会長、副会長を選出する選挙活動を行いました。

活動中の帰りの会、3年生の教室に選挙活動を見に行きました。緊張した面持ちで、精一杯、自分の想いを伝える候補者の姿、それを支え、声をそろえて応援する2年生の姿に、こんなにも東中のために頑張ろうとする生徒がいてくれることをうれしく思いました。また、3年生が来てくれた2年生をねぎらうために、全員でお礼を言う姿にも心打たれました。朝の活動では、選挙活動を支える選挙管理委員、その横であたり前のように、落ち葉を掃く環境整備委員がいてくれることに、コロナ禍でもあきらめず、今年1年、現生徒会役員と生徒全員で生徒会活動を動かし続けてくれたことを実感し、有難く思いました。

人が人を選ぶというのは、大変難しいことです。迷いに迷って、心の中が、51対49で選んでも1票、100対0で選んでも1票です。その1票が集まって得票差がつくのですが、だからこそ、数字の結果だけではわからないことがあります。投票する側は、悩みながらも思い切って立候補してくれた候補者の『思い』、候補者側は期待する投票者の『思い』を理解します。民主主義とは単なる多数決ではなく、互いを理解し、合意を形成していくことです。

リモート形式で行った今年の立会演説会。立派な演説と共に、モニター越しに、互いの『思い』を理解した素晴らしい会になりました。選挙活動が終わり、3年生の選挙管理委員長が、校長室に挨拶に来てくれましたが、こちらこそ感謝したい気持ちになりました。

